

八王子市立櫛田小学校（1年目）

【校長】 仙北谷 仁策
【児童数】 451名
【学級数】 16学級



次の取組へ

【課題・改善】

- ・より多くの児童が運動やスポーツをするが好きになるために特別活動との連携、スポーツ活動の実施による運動習慣の確立（運動会を含む）、運動環境の整備（クライミングウォールの設置）を行い、運動に親しむ児童の健全育成や学力向上への伝播を図る。
- ・児童がうまくできる方法を考えて運動に取り組むよう教員の授業力や専門性の向上を図り、授業研究の展開（各学年、くぬぎ教室）、体育科の授業改善（保健領域含む）、年間講師による系統的な研究実践に、より一層力を入れていく。

目標

- ・運動やスポーツをすることが好きな児童の割合（70%以上）
- ・うまくできる方法を考えて運動している児童の割合（85%以上）

【成果】

- ・運動やスポーツをすることが好きな児童の割合が63%から86%となった。
- ・うまくできる方法を考えて運動している児童の割合が目標値の85%には届かないが、78%から82%へと増加した。
- ・クライミングウォールを設置したことにより、児童が休み時間に体を動かすということに意識が高まり、運動習慣を獲得するきっかけとなった。
- ・外部講師による授業によって、児童が運動に対しての考えや、食生活などへの関心をもつきっかけをつくることできた。

【実態・課題】

- ・「一週間の体育以外の運動時間」「運動・スポーツをすることが好き」の割合が市や都の割合よりも低い。
「一週間の体育以外の運動時間」
本校：468分 市：544分 都：550分
「運動・スポーツをすることが好き」
本校：63% 市：69% 都：71%
- ・運動が好きな児童の割合を増やし、一週間当たりの運動時間を増やす。
- ・うまくできる方法を児童一人一人が考えながら取り組み、成功体験を増やす。

【取組】

- ・平塚 潤 先生（元陸上競技アスリート）による講演会及び陸上教室の実施
- ・JFA サッカー教員サポート研修会の実施
- ・委員会活動と連携したスポーツイベントの実施（ボール蹴り）
- ・クライミングウォール設置などのスポーツ環境の整備
- ・八王子ビートレインズ（プロバスケットボールチーム）による講演会・実技指導
- ・校内での体育補習教室の実施
- ・体育科の研究授業を全学年で実施したり、OJT を推進したりすることによる指導方法の改善

【取組（詳細）】

○ 陸上教室、講演会「陸上競技から学んだこと」 令和5年9月14日

- ・元城西大学男子駅伝部監督の平塚 潤先生を招き、第4・5学年の児童を対象に講演会と陸上教室を行った。講演会では平塚選手の過去の経験やその経験から得た知識、スポーツに対する思いなどをお話していただいた。陸上教室では、「速く走る方法」を中心に、脚を高く上げるステップや、手を後で組んで走る活動などを紹介してもらい実践した。児童自身で気付き、体感できるような活動を多く教えていただいた。



手を後で組んで走り、腕の振りの有効性を感じる活動

○ JFA サッカー教員サポート研修会の実施 令和5年9月7日



ドリブルをしながら前の人を追いかけるボール操作活動

- ・JFAの北野 孝一先生（金沢市立浅野川小学校教員）を招き、「サッカー教員サポート研修」を行った。サッカーの技能や練習方法だけでなく、体育全般に関わって、児童が運動する時にどのように思考を広げたり、深めたりするのかを教えていただいた。誰でも体育を楽しめるようにするために必要なことを改めて考える機会となった。
- ・一人1個のボールを作り、それを使いゲーム形式の活動などを行った。

○ 体育委員会によるボール蹴りイベントの実施 令和5年9月8日

- ・体育委員会による、全校児童を対象にしたボール蹴りイベントを行った。当日は多くの児童が参加し、体育委員の児童の進行のもとで活動が行われた。この結果、休み時間にボール蹴り遊びをする児童が以前よりも増加した。



ボール蹴りイベントで勢いよく蹴る様子